



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場会社名 新京成電鉄株式会社

上場取引所 東

コード番号 9014 URL <http://www.shinkeisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠井 孝悦

問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部長 (氏名) 吉川 邦彦

TEL 047-389-1124

四半期報告書提出予定日 平成24年11月6日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,784	0.4	1,813	4.9	1,718	5.9	1,058	8.5
24年3月期第2四半期	9,747	△2.4	1,728	11.3	1,622	13.5	975	27.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,188百万円 (10.2%) 24年3月期第2四半期 1,079百万円 (78.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	19.26	—
24年3月期第2四半期	17.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	66,091	27,456	41.5
24年3月期	65,797	26,406	40.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 27,456百万円 24年3月期 26,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年3月期	—	2.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,300	3.8	2,934	△0.9	2,861	0.5	1,832	18.9	33.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	55,116,142 株	24年3月期	55,116,142 株
25年3月期2Q	177,026 株	24年3月期	173,314 株
25年3月期2Q	54,941,526 株	24年3月期2Q	54,945,341 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災における復興需要等を背景に、緩やかな回復基調がみられたものの、海外景気減速の影響や雇用情勢の厳しい状況など、依然として先行き不透明なまま推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループでは安全管理体制のさらなる充実を根幹とし、引き続き全事業において積極的な営業活動を展開するとともに経営基盤の強化並びに効率化に努めました。

その結果、営業収益は9,784百万円（前年同期比0.4%増 36百万円）、営業利益は1,813百万円（前年同期比4.9%増 85百万円）、経常利益は1,718百万円（前年同期比5.9%増 96百万円）、四半期純利益は1,058百万円（前年同期比8.5%増 82百万円）となりました。

これをセグメントごとに示すと次のとおりであります。

運輸業

鉄道事業では、元山駅のエレベーター設置工事及び耐震補強工事を実施いたしました。

旅客サービスにかかる一層の向上策として、車内混雑の緩和及び利便性の向上を図るため、平成24年4月2日にダイヤ修正を実施しましたほか、車両に自動放送装置の設置をすすめました。

安全輸送確保の取り組みとして、車両に「運転士異常時列車停止装置」の設置及び戸閉保安装置の更新工事をすすめました。

また、高根木戸駅に遠隔監視システムの導入をすすめ、駅業務の効率化を図りました。

鎌ヶ谷市内の連続立体交差化工事につきましては、引き続き早期完成を目指し工事をすすめております。

営業面につきましては、沿線健康ハイキングを実施しましたのをはじめ、行楽施設の前売券や企画乗車券等の発売を行いましたほか、北習志野駅及び新津田沼駅に、大型液晶ディスプレイにより広告や各種情報を表示する電子広告媒体「デジタルサイネージ」を設置し、旅客誘致並びに増収対策に努めました。

バス事業の一般乗合輸送につきましては、環境や高齢者などに配慮した車両への代替を20両実施しましたほか、松戸新京成バス株式会社が利便性の向上を図るため、ダイヤ改正を行いました。

営業面につきましては、旅客誘致並びに増収に向けた継続施策として特殊割引定期券を各種発売いたしました。

以上の結果、営業収益は7,906百万円（前年同期比2.0%増 154百万円）、営業利益は動力費・修繕費等が増加したこともあり1,024百万円（前年同期比13.6%増 122百万円）となりました。

不動産業

不動産賃貸業では、空室へのテナント誘致を積極的に行い物件稼働率の向上に努めましたほか、賃貸施設の保全工事を実施いたしました。

平成23年9月より建設工事をすすめておりました北習志野駅の新規賃貸施設「エキタきたなら」が、平成24年8月1日に開業いたしました。

以上の結果、営業収益は1,588百万円（前年同期比0.0%増）となりましたものの、営業利益は修繕費の増加等もあり763百万円（前年同期比5.2%減 42百万円）となりました。

その他

駅売店業等では、電子決済システムを導入し、利便性の向上を図りましたが、売上の減少傾向に歯止めがかからず、厳しい経営環境の中での営業活動になりました。

また、自動販売機による飲料の販売業務につきましては、各ベンダーとの契約を見直し、従来の飲料買取方式から手数料收受方式に変更いたしました。これにより、営業収益は従来の方式に比べて109百万円の減少となりましたが、営業利益に及ぼす影響はありません。

以上の結果、営業収益は376百万円（前年同期比23.7%減 116百万円）となりましたものの、営業利益は営業費用の減少もあり12百万円（前年同期比43.8%増 3百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、減価償却による有形固定資産の減少等がありましたものの、現金及び預金、投資有価証券の増加等により前連結会計年度末に比べ294百万円（前期比0.4%増）増加し、66,091百万円となりました。

負債は、前受金の増加等がありましたものの、未払金、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ755百万円（前期比1.9%減）減少し、38,635百万円となりました。

純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末に比べ1,050百万円（前期比4.0%増）増加し、27,456百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの実績を踏まえ、平成24年5月8日発表の予想数値を変更しております。

営業収益につきましては、運輸業において鉄道の輸送人員が昨年度に発生した東日本大震災以前の水準まで回復しきれないこともあり、20,300百万円（前回予想比0.7%減）を見込んでおります。

営業利益につきましては、営業収益の減収があるものの、運輸業における投資計画の一部見直しに伴い減価償却費が減少することもあり、2,934百万円（前回予想比2.4%増）を見込んでおります。

経常利益につきましては、受取配当金の増加等により2,861百万円（前回予想比3.2%増）、当期純利益につきましては、1,832百万円（前回予想比2.6%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,091千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,895,750	3,211,477
売掛金	1,005,699	983,666
商品及び製品	34,068	31,283
分譲土地建物	2,958,079	2,958,079
原材料及び貯蔵品	248,546	247,401
繰延税金資産	278,367	296,745
その他	150,056	207,842
流動資産合計	7,570,568	7,936,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,644,937	21,068,641
機械装置及び運搬具(純額)	5,367,121	5,165,765
土地	9,338,211	9,339,241
建設仮勘定	16,779,006	16,490,671
その他(純額)	1,047,948	872,405
有形固定資産合計	53,177,225	52,936,724
無形固定資産		
その他	289,296	277,208
無形固定資産合計	289,296	277,208
投資その他の資産		
投資有価証券	4,365,008	4,535,319
繰延税金資産	121,962	79,883
その他	273,660	326,353
投資その他の資産合計	4,760,631	4,941,556
固定資産合計	58,227,153	58,155,490
資産合計	65,797,721	66,091,985
負債の部		
流動負債		
買掛金	829,114	607,960
短期借入金	3,762,900	3,813,480
未払金	1,930,003	875,312
未払法人税等	510,556	696,695
前受金	13,178,136	14,325,265
賞与引当金	430,598	438,938
その他	2,300,901	2,361,982
流動負債合計	22,942,211	23,119,635
固定負債		
長期借入金	11,452,730	10,460,090
退職給付引当金	2,235,219	2,306,190
その他	2,761,430	2,749,734
固定負債合計	16,449,379	15,516,015
負債合計	39,391,590	38,635,650

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,935,940	5,935,940
資本剰余金	4,774,511	4,774,511
利益剰余金	14,391,226	15,312,015
自己株式	△63,782	△65,084
株主資本合計	25,037,895	25,957,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,368,235	1,498,952
その他の包括利益累計額合計	1,368,235	1,498,952
純資産合計	26,406,130	27,456,335
負債純資産合計	65,797,721	66,091,985

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	9,747,399	9,784,305
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	7,470,132	7,432,001
販売費及び一般管理費	548,884	538,814
営業費合計	8,019,017	7,970,816
営業利益	1,728,381	1,813,488
営業外収益		
受取利息	312	312
受取配当金	26,012	26,893
車両売却益	7,383	23,226
持分法による投資利益	2,330	—
その他	28,954	21,883
営業外収益合計	64,993	72,316
営業外費用		
支払利息	164,620	145,429
持分法による投資損失	—	18,299
その他	6,032	3,249
営業外費用合計	170,653	166,978
経常利益	1,622,721	1,718,827
特別利益		
工事負担金等受入額	48,134	66,567
特別利益合計	48,134	66,567
特別損失		
固定資産圧縮損	48,134	66,380
投資有価証券評価損	23,270	—
特別損失合計	71,404	66,380
税金等調整前四半期純利益	1,599,451	1,719,014
法人税、住民税及び事業税	670,561	686,717
法人税等調整額	△46,270	△25,848
法人税等合計	624,290	660,868
少数株主損益調整前四半期純利益	975,160	1,058,145
四半期純利益	975,160	1,058,145

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	975,160	1,058,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102,098	129,166
持分法適用会社に対する持分相当額	2,002	1,551
その他の包括利益合計	104,100	130,717
四半期包括利益	1,079,261	1,188,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,079,261	1,188,863
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	7,751,376	1,557,443	9,308,820	438,579	9,747,399	—	9,747,399
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	344	30,031	30,375	54,644	85,019	△85,019	—
計	7,751,721	1,587,474	9,339,195	493,223	9,832,419	△85,019	9,747,399
セグメント利益	901,623	805,155	1,706,779	8,372	1,715,151	13,230	1,728,381

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駅売店業等であり
ます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	7,895,657	1,568,072	9,463,730	320,575	9,784,305	—	9,784,305
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	10,369	20,167	30,536	55,717	86,254	△86,254	—
計	7,906,026	1,588,239	9,494,266	376,293	9,870,559	△86,254	9,784,305
セグメント利益	1,024,550	763,038	1,787,588	12,042	1,799,630	13,857	1,813,488

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駅売店業等であり
ます。なお、当該区分に含まれております自動販売機による飲料の販売業務につきましては、各
ベンダーとの契約を見直し、従来の飲料買取方式から手数料收受方式に変更いたしました。これ
により、営業収益は従来の方式に比べて109,485千円の減少となりましたが、セグメント利益に
及ぼす影響はありません。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。